



山形大学医学部附属病院

Yamagata University Hospital

〒990-9585
山形市飯田西2-2-2



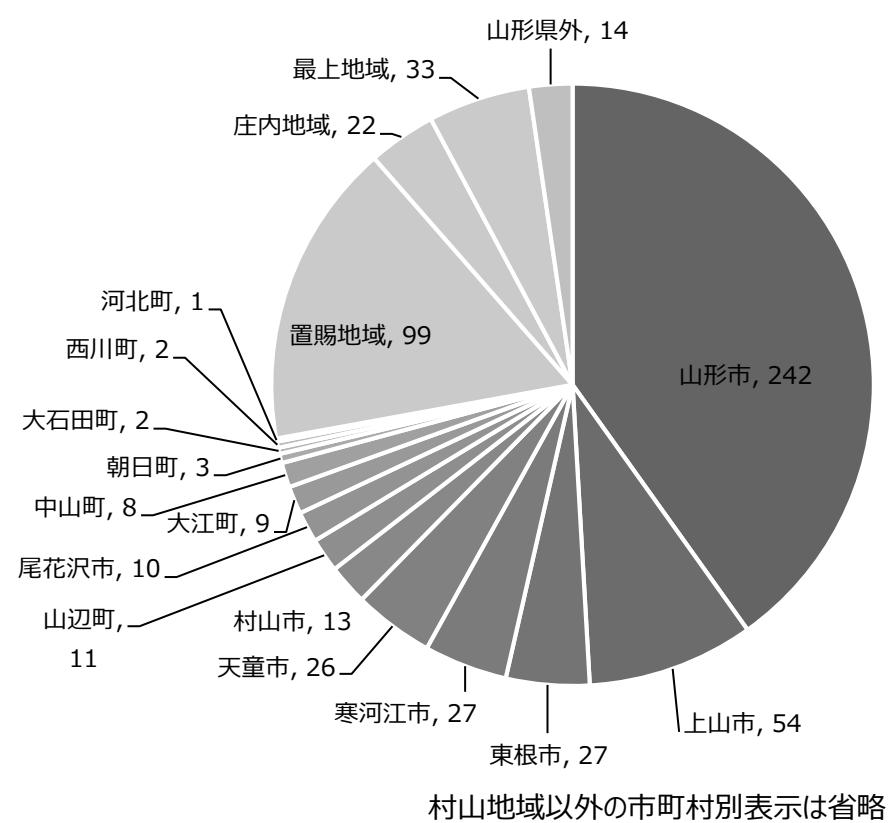
病院概要

地域完結型医療のなかで、当院は高度な医療を提供し高度な医療技術の開発や評価を行う「特定機能病院」です。

当院を初めて受診される患者さんは、地域の医療機関から、当院での診療が必要であると紹介いただくことが基本となります。疾患が重症で専門的な医療を必要とする多くの患者さんにその医療を提供するため、当院での治療が終了して症状がある程度落ち着くなどした場合にはその後の治療やリハビリ等について、その機能や役割をもつ病院へ引き継いでいきます。

病院の理念	人間性豊かな信頼の医療
病床数	637床 一般病床:601床 (ICU 6床, HCU 14床, NICU 6床, GCU 3床) 精神病床:36床
連携窓口	地域医療連携センター TEL 023-628-5158 FAX 023-628-5161
相談等受付時間	平日 8:30~17:00

平成30年6月1日の入院患者住所分布



平成30年6月データ

1カ月の新規入院患者数	1,063人
1カ月の退院患者数	1,090人
転帰先 (一般病床のみ/転棟・再入院患者を除く)	自宅退院 930人 他の病院へ転院 51人 施設入所 0人 その他 29人

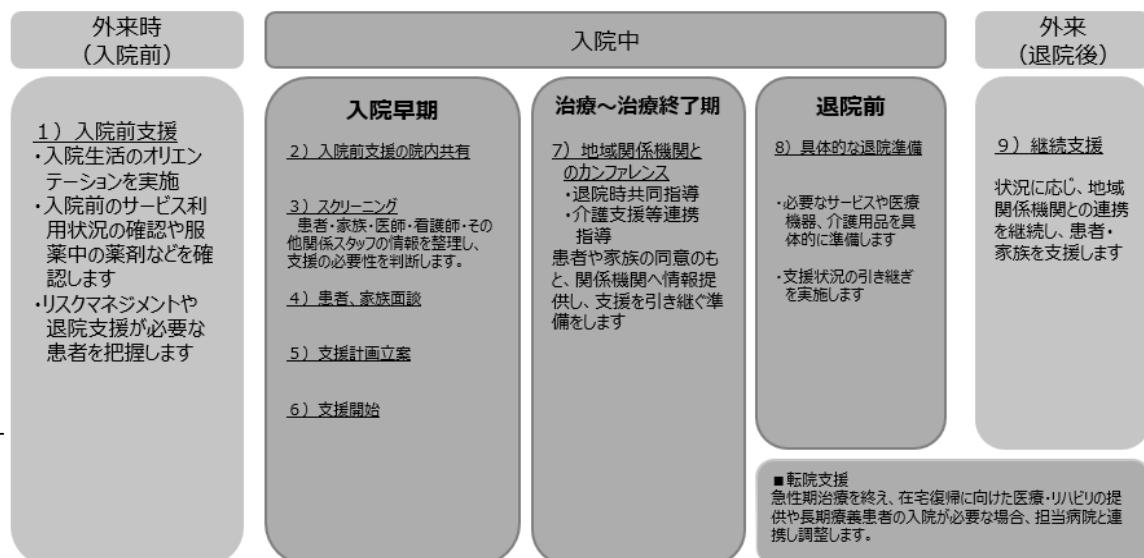
※一般病床平均在院日数: 11.85日 ※入退院支援介入率 (SC該当率) : 13%

患者支援時の連携について

●知っていてもらいたい！ お願い！

- 当院の患者支援担当者は診療科担当制をとっています。ご連絡頂く際には、事前にご家族とお話しの上、診療科、入院病棟の確認をお願いします。
- 病状、入院に対する患者や家族の理解状況に関する、ケアマネジャーや地域関係機関等からの情報はとても有用です。
- 状況によっては、「ケアマネジャーがいる」というだけでは病院内では支援対象とならないこともあります。このため、ケアマネジャーをはじめ在宅療養支援関係機関の方で把握している課題などがあれば、入院早期にご連絡いただき、スムーズな患者支援につながるよう、連携をお願いします。
- 急性期病院においては、治療の終了から退院までは短期間です。退院予定日はありますが、予定通りにいかないことが多い状況もあります。
- 退院後、ケアマネジャーからサマリーを求められることが多くあります。その活用目的を明確にし、適時に適切な情報共有ができるよう、お互い協力ていきましょう。

当院の入退院支援の動き



山形県立中央病院

〒990-2292
山形市大字青柳1800番地
電話 023-685-2626(代表)

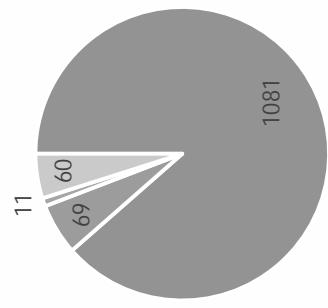


病院の特色

「県民の健康と生命を支える安心と信頼の医療」

平成30年6月のデータ

【退院患者の転帰先】

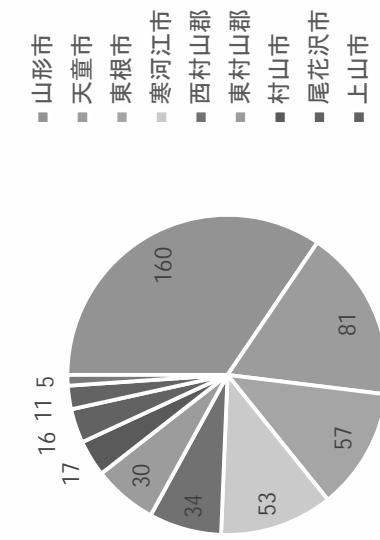


- ・1か月の新入院患者数: 1,221
- ・1か月の退院患者数: 1,281
- ・1か月に退院した患者数の転帰先

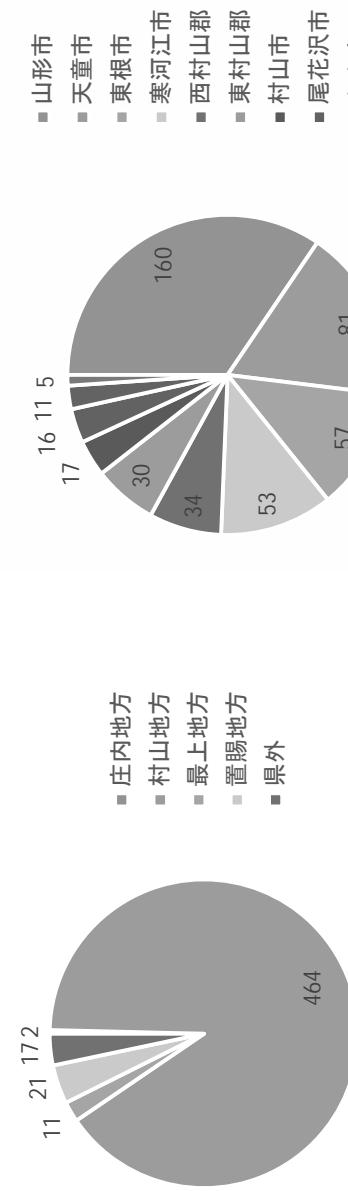
■自宅; 1,081 □転院; 69 □施設; 11
□その他(死亡等); 60

平成30年6月1日に入院していた患者の住所分布

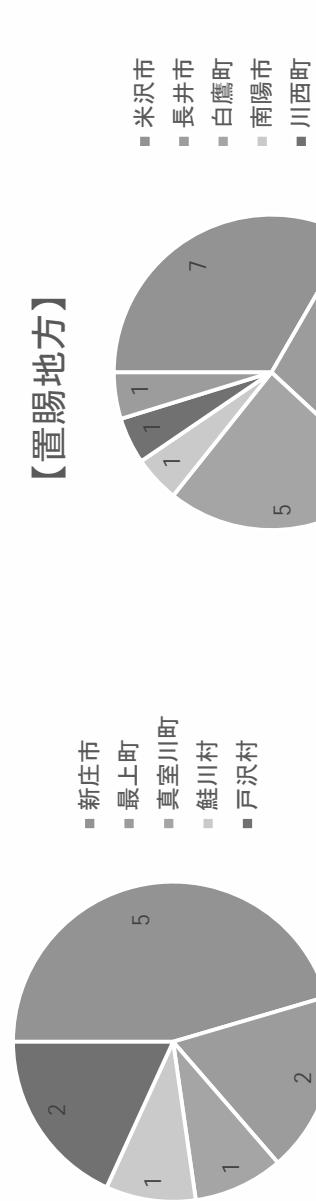
【村山地方】



【地域別】



【最上地方】



【庄内地方】酒田市 1
鶴岡市 1

【入退院支援時の地域との連携について
在宅移行支援に係る知識とスキルを高め、実践されたケアを要約し地域
へつなげていきたいと考えています。】

山形市立病院 済生館

Yamagata City Hospital SAISEIKAN

地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院 臨床研修指定病院



山形市七日町一丁目 3 番 26 号

病院の特色

一般病床 528 床の高度急性期・急性期病院で、「地域医療支援病院」として地域医療機関との連携や、安心安全な高度医療の提供をめざすための新たな診療機能・体制の整備などに取り組んでいます。病床利用率は 80.2% で、平均在院日数は 12.7 日となっています。(平成 29 年度実績)

【主な取組み】

- ①紹介での診療予約を、直接電話で受付
- ②CT・MRI の共同機器利用
- ③脳卒中センター・地域糖尿病センターの開設
- ④慢性腎臓病 (CKD) パスの運用
- ⑤褥瘡（床ずれ）の専門外来の実施
- ⑥救急医療体制の充実

在宅医療支援・退院支援

患者本人・家族等の意向を踏まえ、看護師・MSW 等各スタッフが対応しています。

通院中患者の在宅支援

医療相談室・各外来で対応

入院中患者の退院支援

ケアマネの有無で判断し、病棟または連携室で対応

※連携室で介入する患者

- ・介護保険未申請
- ・新規施設入所希望
- ・地域連携パスの転院等

介護関係のみなさんと情報を共有しながら連携を図り、患者さんそれぞれの状況に合わせた、円滑な対応を心がけていきたいと思っております。そして、患者さんが退院後の在宅生活を安心して送ることができるように支援を行ってまいります。

お問い合わせ

山形市立病院済生館 地域医療連携室

TEL

023-634-7161 (退院支援) 023-634-7116 (その他)

3

FAX

023-626-6517

社会福祉法人 恩賜財団 済生会山形済生病院

〒990-8545 山形市沖町 79-1 TEL: 023(682)1111

病床数 473 床：一般〔7 対 1〕356 床 回復期リハビリ 50 床 地域包括ケア 50 床 NICU 8 床 HCU 4 床 人間ドック 5 床



◎当院の特徴(H29 年度)

一般病棟：平均在院日数 15.0 日

回復期リハビリ：平均在院日数 66.6 日

疾患割合：脳血管疾患 95%、整形疾患 4%、廃用症候群 1%

地域包括ケア：平均在院日数 13.1 日

科別割合：整形 80%、内科 11%、外科 4%、脳外 2%、心外 2%、その他 1%

レスパイト入院：介護施設で対応困難な医療依存度が高い方をお受入れしています。

無料低額診療：社会福祉法に基づき、経済的理由によって、必要な医療を受ける機会を制限されることのないように、無料または低額な料金で診療を行っています。

※一旦、一般病棟に入院となります。

◎連携窓口：患者支援センター

バックアップ万全！各病棟にも退院支援担当 NS がいます。

前方支援 地域連携室：事務職員 病診連携、外来予約等

後方支援 入退院支援部門：看護師、医療ソーシャルワーカー(以下 MSW)

MSW の人数：11 人 医療福祉相談室 場所：南館 1 階

退院支援、外来患者に関してのお問い合わせは医療福祉相談室にご連絡下さい。

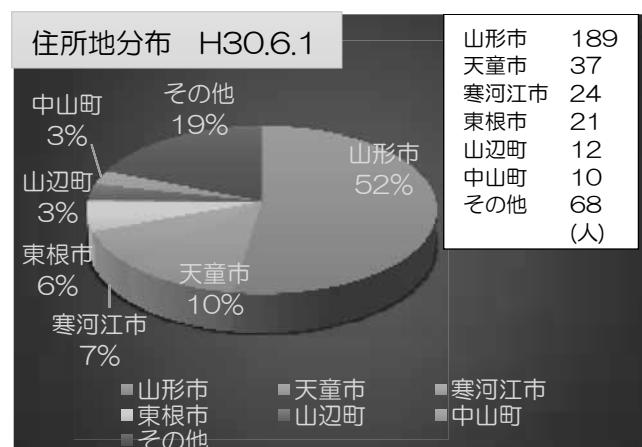
各病棟担当制。担当者が決まっているので安心です！

平成 29 年 1 月に引越しました。

◎入退院患者数 (H30.6)

入院患者数 710 人

退院患者数 731 人



◎連携に関するお願い

- ・入院時、ケアマネからの情報提供は、事前に MSW へご連絡いただき、入院から 3 日以内にお越し下さい。
- ・退院前に看護師からの情報提供をご希望の際は平日午後の対応となります。事前に MSW までご連絡下さい。

独立行政法人 国立病院機構山形病院



住所:〒990-0876
山形市行才126-2

電話:023-684-5566(代表)
023-681-2303(連携室直通)

FAX:023-681-9477(連携室直通)



病院の特色①

『病床数』 300床(一般)

参考:結核患者収容モデル病床6床(H30.4.1運用)

『病院の機能』

神経難病拠点病院
回復期におけるリハビリテーション
てんかんセンター
高次脳機能障がい者支援センター
重度心身障害児者医療
結核医療



『地域医療連携室構成スタッフ』

地域医療連携室室長(副院長) 地域医療連携室副室長(経営企画室長)
看護師長1名 MSW3名 事務補助1名

病院の特色②

『病棟』

- 1病棟:リハビリテーション科外
- 2・3病棟:重度心身障害児者病棟
- 4病棟:脳神経内科
- 5病棟:循環器内科、脳神経内科、てんかん科
- 6病棟:呼吸器内科外

『診療科目』

脳神経内科 内科 呼吸器内科 循環器内科 精神科 てんかん
リハビリテーション科 脳神経外科 整形外科 歯科 高次脳機能障がい科
糖尿病 消化器内科 耳鼻咽喉科 (小児科 放射線科)

平成30年6月のデータ①

・1ヶ月の入院患者数 39名

・1ヶ月の退院患者数 42名

【転帰先内訳】

転帰先	人数(%)
自宅	29名(69%)
転院	4名(10%)
施設入所	6名(14%)
その他(死亡退院)	3名(7%)

平成30年6月のデータ②

住所地分布

